令和 8 年 8 月1 日
第 231 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表　中村丈二
電話　972・6606

強制排水システムは強力だった



壁面に水の流れた跡

雨の続いた6月26日の早朝、水路の状況を確認しました。まず強制排水ポンプを見に行きました。驚きました、三台あるポンプがみんな踊り上がっているようになって停止していました。

これは夜半に自動で排水が行われたに間違いありません。2年前に設置した「洪水捌け水路」を見ると、排水口の部分に流水があったことを示す跡が確認できました。川への排水口を確認すると土砂の流出防止のためのシートがめくれて、その部分の土砂が流れてしまっているではありませんか。間違いなく大量の水が流れたのです。

状況は直ぐに市の担当課に報告されました。週明けの月曜日から大型のクレーンを使った作業が始まりました。流れ出した部分を埋め戻し、今まで単純なスロープだった排水路は、左右を大きな土嚢に囲まれた三段滝のようになっていました。

この部分は当初から令和8年度の工事予定で、応急的にシートで覆ったスロープでした。しかし、1分間45トンの水流は想像以上でした。

しかし、このおかげで当地区のどこにも何にも起きませんでした。あの洪水捌けとの組み合わせで、九田川の水流を抑えきることができました。



3台のポンプは同じように傾いたまま停止状態（6 月 26 日）



大きく土砂が流出したと排水口部分



作業後の刈り草などの収集袋（6 班）

市道と公有地の除草清掃作業

6月28日、市道と公有地の除草清掃作業を行いました。この作業は毎年2回行う山口市からの委託事業です。

今回は52名の参加者がありました。道路と山地との境が分かりづらくなっているところもあります。こうした作業で、はっきりすることも少なくありません。大量の草刈りゴミが集まりました。

慰霊祭・盆踊り・射的ゲーム・花火
八方原ふれあい盆踊り大会
8月8日（土）　午後6時半から　八方原公民館

この通信は https://www.harataco.org/YKM/ で読むことができます

みんなで墓地清掃

7月12日の早朝、墓地共有部分の除草清掃を行いました。一番熱い時期なので作業は楽ではありませんが、1年に一度の作業を怠ると、墓地内の通路は草に覆われて歩けなくなるかも知れません。

墓地は3か所に分かれていますが、旧墓地には「六地蔵」がおかれています。数十年前まではそこで最後の別れをして、山頂近くの焼き場に「御遺体」を運びあげていたとのことです。



旧墓地には10名ほどの関係者が参加写真右手に六地蔵がある

雨天をついての田植え作業



強い雨の降る中、田植え作業（６月２３日）

農事組合法人八方原の田植えが終わりました。6月中旬から雨天が続き、思うように作業ができませんでした。

本来なら田植え作業と同時に肥料や農薬などを散布し、後の作業を省力化できるのですが、雨天だと薬剤の散布が困難になります。そこで雨天では田植え中止が基本でした。しかし、苗は伸びすぎてしまうし。日程は遅れるばかり、とうとう散布をストップにして作業再開。雨具を着用しての田植えとなりました。

そのために薬剤散布は小型のヘリコプターを使っての作業となりました。

この小型ヘリは名田島地区の有力な農業法人の所有しているもので、作業を全てお願いしました。



名田島農業法人の小型ヘリヤマハFAZER。４サイクル２気筒の400ccのエンジンは28馬力（6月28日）

生活道路は最高時速30km/時

生活道路での自動車の制限速度が変わります。従来表示のない道路は原則として時速60キロメートルでした。このことについて先代の自治会長が地区内の市道について尋ねると「速度指定はない」という答えでした。

実際にはその速度で走るものはおりませんが、本年9月より車線表示のない道路は原則として時速30キロメートル以下の走行となります。

崩落防止の治山事業が開始

昨年度から始まった1班東側の治山事業。いよいよ工事が始まりました。

工事業者は、共興株式会社（仁保）です。着手は7月22日、今年度分の工期は令和9年3月31日となっています。九田川への土砂の崩落を食い止めるために始まりますが、今から4年はかかる予定です。

この土砂崩落は外から見たのでは分かりませんが、現場にはいくつかの崩落カ所があります。その原因部分に砂防堰堤を作りますが、まずは現地に機械が届くように工事用道路の開設です。その距離約４５０メートル。これだけでも、大変な作業です。

LINEのグループへの参加

八方原自治会緊急連絡網のラングループへの参加手続きを変更します。

左のQRコードをご自身のラインの友達追加機能で読み込んでください。

管理者の副自治会長原田茂樹と友だちになります。その後にグループへの招待を行います。

八方原地区緊急連絡
Eメールの登録